

[補足資料] 小学校, 中学校, 高等学校の評価について

小学校, 中学校, 高等学校の評価にあたっては, 次表に掲げる各評価項目について, それぞれ同表に掲げる評価基準に従って評価することができる。

評価項目	採点レベル	学(小中高)
		評価基準
Q1/1.1 騒音	レベル1	60<[騒音レベル]
	レベル2	50<[騒音レベル]≤60
	レベル3	45<[騒音レベル]≤50
	レベル4	35<[騒音レベル]≤45
	レベル5	[騒音レベル]≤35
Q1/2.1.1 室温設定	レベル1	(該当するレベルなし)
	レベル2	(該当するレベルなし)
	レベル3	冬季18℃以上, 夏季28℃以下の室温を実現するための最低限の設備容量が確保されている。
	レベル4	冬季20℃以上, 夏季25℃以下の室温を実現するための設備容量が確保されている。
	レベル5	冬季22℃以上, 夏季24℃以下の室温を実現することが可能な設備容量が確保されている。
Q1/2.2 湿度制御	レベル1	レベル3を満たさない。
	レベル2	(どちらとも言い難い場合)
	レベル3	一般的な冬季30~45%, 夏季55%~80%の範囲の湿度を実現することが可能な設備容量が確保されている。
	レベル4	(どちらとも言い難い場合)
	レベル5	加湿機能・除湿機能を有し, かつ45%~55%の範囲の湿度を実現することが可能な設備容量が確保されている。
Q1/3.2.2 昼光制御	レベル1	何も無い。
	レベル2	(該当するレベルなし)
	レベル3	カーテン, スクリーン, オーニング, 庇によりグレアを制御。
	レベル4	ブラインドによりグレアを制御, 若しくはカーテン, スクリーン, オーニング, 庇のうち2種類以上を組み合わせで制御。
	レベル5	ブラインドに, カーテン, スクリーン, オーニング, 庇のうち, 1種類以上を組み合わせで制御。

評価項目	採点レベル	学(小中高)
		評価基準
Q1/3.4 照明制御	レベル1	明るさや学習形態に応じた制御区画ではない。
	レベル2	(該当するレベルなし)
	レベル3	明るさや学習形態に応じた制御区画であり、在室者自らが点灯・消灯によって制御できる。
	レベル4	(該当するレベルなし)
	レベル5	レベル3を満たしている。かつ、部分的に自動調光できる。
Q2/1.2.1 広さ感・景観	レベル1	レベル3を満たさない。
	レベル2	(該当するレベルなし)
	レベル3	教室の天井高が概ね 2.7m 以上。
	レベル4	(該当するレベルなし)
	レベル5	教室の天井高が 2.7m を超えている。